

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 6 年 2 月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら豊橋中浜教室

保護者等数(児童数) 10 回収数 10 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10件				部屋が広くて良い	勉強、生活、遊びと部屋を分け、使用しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9件			1件		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6件	2件		2件		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	10件					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9件	1件			活動が月ごとに決められていて、工夫されている。	職員で話し合い、利用者に合わせて活動を組んでいる。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5件	2件	1件	2件		今後、保護者様の意見を聞き取っていきたい。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10件					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10件					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10件					
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3件	2件	5件		今のところないが、逆に親負担が無くて助かっている	保護者様の意見を聞いて、今後考えていきたいと思います。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7件	2件		1件		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9件	1件				LINEを通じて、連絡を取り合ったり、送迎時に会話をして信頼関係を築いていく。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10件					
非常時 等の 対応	14 個人情報に十分注意しているか	10件					鍵書庫で管理しています。
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8件			2件		
満足 度	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6件			4件		避難訓練を行い、反省し、次に生かしていきます。
	17 子どもは通所を楽しみにしているか	10件					
	18 事業所の支援に満足しているか	9件	1件			預ける時間の幅が広がるとありがたい。	色々な意見を聞いて、検討していきたいと思います。

0 0 0 0 #DIV/0!

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 20日

事業所名 こばんはうすさくら豊橋中浜教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8件			
	2 職員の配置数は適切である	7件	1件		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8件			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7件	1件		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4件	2件		初回のため、今後意見を取り入れ、改善につなげていきたい。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4件	3件		初回のため、今後の目標かつ、行っていく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2件	4件		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6件	1件		個々に応じての細かな研修計画の作成があるとよい。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8件			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7件			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8件			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7件			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7件	1件		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8件			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7件			朝礼で細かく確認し昼礼で、午後勤務の職員に伝える。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7件		全体周知のためにミーティングノートを活用している。	短い時間でも必ず終礼を行う。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8件		個別ノートに気づいたことを記入している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8件			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7件			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8件			
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8件				
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1件		対象児童いません。		

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7件	1件		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1件		まだ、その年齢に達する児童はいません。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5件	1件		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6件		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3件	4件		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8件		送迎時やLINEなどを活用し、子どもの状況を把握している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3件	1件	ペアレント・トレーニングの必要な家庭には必ず相談員と連携し行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7件			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7件		悩みがある時は、時間を設けて話をしたりしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1件	5件	まだ、父母の活動は行っていない。	今後は親同士の交流が持てる場を提供していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7件			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6件		毎月「活動プログラム表」を作成、発信。日々の様子は連絡ツールを用い、毎回個別に発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	6件	1件		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7件			
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2件	3件		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8件			周知、訓練をもっと徹底していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7件		避難訓練は何度か行っている。	なるべく利用人数の多い日に行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8件			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4件	1件	身体拘束を伴う場合のケースが現時点ではない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5件	1件	席を離したりして対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8件		月1回の会議で周知している。	